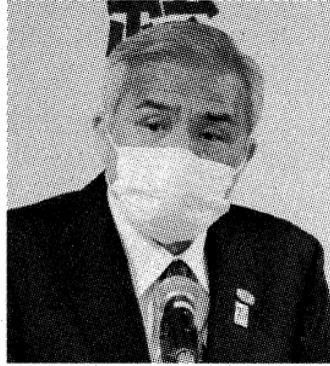


## 秋ごろに創立5周年式典

## 東北建設マネジ協

東北建設マネジメント技術協会(秋葉敬治代表理事)は5月29日、2023年度定時総会を仙台市のエルパーク仙台で開いた。本年度は、創立5周年記念式典



秋葉代表理事

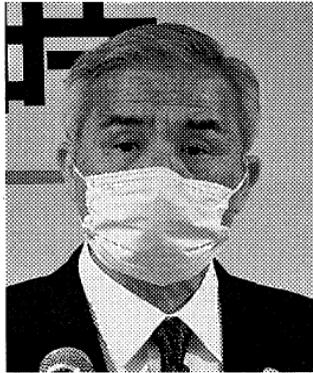
を実施するほか、東北地方整備局との意見交換を行い、働き方改革や技術者単価引き上げなどを要望する。秋葉代表理事は「自然災害が激甚化し、発注者支援業務が多くなる中、われわれの役割も重要性が増している。東北地方整備局との意見交換や、インフラDXに関する研修会を開催するなど、より良い環境にするための活動を継続していく」とあいさつした。

23年度は、11月に同協会創立5周年を迎えることから、秋ごろに記念式典を開催。また、『工事のみりよく写真展』や防災エキスパート活動、技術力向上等に向けた各種研修会・講習会なども実施する計画だ。併せて、東北整備局と意見交換会を行い▽人材確保・育成▽働き方改革▽業務の調査基準価格の工事並みへの見直し▽総合評価落札方式における賃上げ実施企業への加点措置施工に併せた設計業務等技術者単価の引き上げ—などを要望する。

## 技術力を磨き 社会基盤充実へ

東北建設マネジ技術協会

東北建設マネジメント技術協会(秋葉敬治代表理事)は5月29日、仙台市青葉区のエルパークで2023年度定時社員総会を開いた。建設マネジメント技術の研さん、人材育成などを盛り込んだ事業計画を承認した。



秋葉代表理事はあいさつ

で「自然災害への対応や国土強靱化など、発注者支援業務への期待が高まっている。常に発注者の要求にこたえらるる技術力を磨き、より良いサービス提供をしていくことが使命でもある。東北の社会基盤の充実に向けて取り組んでいきたい」と呼び掛けた。写真。

23年度は、建設マネジメント技術の研さん・振興に向けた意見交換などの活動や技術者の地位向上、生産性向上、防災エキスパート活動などに取り組む。担い手確保の一環で、若手技術者のリレートークをホームページ上で展開するほか東北地方整備局と共催で写真パネル展を行い、広報活動にも力を入れる。

## 技術研さんを成果に

## 東北建マネ協

東北建設マネジメント技術協会(秋葉敬治代表理事)は、仙台



市内のエルパーク仙台で2023年度定時総会を開き、写真、建設マネジメント技術の研さん・振興や技術者の地位向上などを盛り込んだ事業計画の実施を確認した。

冒頭、秋葉代表理事は、昨年12月に逝去した森井希一顧問に哀悼の意をささげた後、「複雑・多様化する業務に対し、より良いサービスを提供することがわれわれの使命だ。技術の研さんを重ねながら着実な成果につなげたい」と強調した。

議事では、22年度事業と収支決算を承認したほか、23年度事業として▽工事監督支援業務の実態調査・研究▽防災エキスパート活動▽写真パネル展による広報活動の回数・開催地拡大▽若手技術者によるリレートーク▽創立5周年記念式典―などの事業計画を報告した。